

部活動紹介

駅伝部の応援をよろしくお願いいたします

昨年、過去最高順位8位となり
シード権を獲得し今年も出場いた

**11月3日(日) 男子駅伝部
全日本大学駅伝対校
選手権大会**

全日本大学女子駅伝対校選手権
大会でも活躍が期待されます。
応援よろしくお願いいたします。

**10月27日(日) 女子駅伝部
全日本大学女子駅伝対校
選手権大会**

10月27日(日)開催。弘進ゴム
アスリートパーク仙台(仙台市陸
上競技場)スタート。
9月29日に行われた関東大学女
子駅伝でみごと優勝を飾り、全日
本大学女子駅伝の出場権を獲得し
た。

**12月30(月) 女子駅伝部
全日本大学女子選抜駅伝競走**

10月27日に行われた全日本大学女
子駅伝対校選手権大会へ杜の都駅
伝Vで見事6位となり、来年のシー
ド権を獲得するとともに、2019
全日本大学女子選抜駅伝競走へ富士
山女子駅伝Vの出場権を獲得しまし
た。

最終6区では区間賞もとりチーム
の上位入賞に貢献した。12月の大会
では、女子駅伝部の走りに期待。
年末ですが大きな声援をお願いいた
します。

女子駅伝部紹介はこちらからご覧になれます。

https://www.josai.ac.jp/club/ekiden_joshiekiden.html

男子駅伝部前回の箱根駅伝の感動はこちらからご覧になれます。

https://www.josai.ac.jp/club/ekiden_hakone.html

2019年11月2日(土)~11月4日(月)に開催

イベントが盛りだくさん 同窓会支部も参加する坂戸キャンパスの大イベント

坂戸キャンパスの脇を流れる高麗川にその名の由来を持つ“高麗祭”。

例年大盛り上がりの模擬店、城西寄席、コンサートや講演会など、学生主体の企画が繰り広げられています。

同窓会各支部も郷土の物産展で参加しています。

同窓生の皆様、是非お越しください。お待ちしております！

去年の高麗祭の写真はこちらから見られます。

<受験生サイトの「高麗祭」にリンク>

<https://www.josai.ac.jp/admission/campuslife/event/komasai.html>

城西大学の日常を撮った写真ははこちらから見られます。

皆様の在学中と、同じ?変わった?

<受験生サイトの「城西フォトギャラリー」にリンク>

<https://www.josai.ac.jp/admission/special/photo.html>

23号館紹介

坂戸キャンパス

2022年春に竣工予定の城西大学坂戸キャンパス23号館建設構想図です。
2020年春以降に着工する予定です。

<https://www.josai.ac.jp/about/facility/23goukan.html>



お知らせ

こんなところでも活躍!
～城西薬学部先輩たち～

城西大学薬学部を卒業し活躍する先輩たちにインタビューした動画を公開しております。様々なところで活躍する卒業生を紹介しております。今後も更新予定です。

<https://www.josai.ac.jp/education/pharmacy/about/katsuyaku.html>



セキ薬品 関社長



亀田総合病院 舟越先生



東光薬品工業 小林社長



資生堂 一和多さん

同窓会設立50周年記念式典
開催いたしました

日付:2019年4月20日

会場:ホテルメトロポリタン東京池袋

※当日の詳しい様子は「けやき78号」で掲載予定です。



「川越東武ホテル」として生まれ変わります。

川越東武ホテルは、現施設での営業は2020年3月31日をもって終了し、同年春～夏頃川越駅西口に宿泊主体型のホテルに生まれ変わります。

※詳細は川越東武ホテルHPにてご確認ください。
<https://www.tobuhotel.co.jp/kawagoe/archives/2930>



人物探訪



経済学部 E95

木村 隼人さん

今回の卒業生訪問は、「さいたま果実ゼリーセット」開発のお話です。

2019年夏、地元埼玉県民に愛され続け、創立70周年を迎える丸広百貨店が、お中元ギフトの目玉商品として城西大学薬学部医療栄養学科と連携して毛呂山町特産の「桂木柚子(かつらぎゆず)」を、種まで丸ごとペースト状にしたものを使ったゼリーと春日部市のブルーベリーを使った二種類を詰め合わせた「さいたま果実ゼリーセット」(12個入り3240円・完売)を販売しました。

この柚ゼリーは、薬学部医療栄養学科が有株式会社リパティハウス(埼玉県八潮市)と共同で開発した「タネまで柚子らん」を使った商品で、「タネまで柚子らん」は「桂木ゆず」を「環境保護」と「健康機能」の観点から「種子」や「果皮」まで丸ごと柚子をペー

スト化したものです。これを「さいたま果実ゼリーセット」として商品化に取り組まれたのが、丸広百貨店本店営業部で活躍されている経済学部卒業生の木村隼人さんです(卒業して20年だそうです)。2019年8月7日の「埼玉フードフェスティバル」開幕のお忙しい中、お話しを聞かせていただきました。



これが「さいたま果実ゼリーセット」完売です

丸広百貨店が彩の国の百貨店として、地域創生の観点から地域ギフトの開発を行ってきた中で「タネまで柚子らん」に出会い、今回の商品化に結びついたそうです。商品化に向けては医療栄養学科と何度も味を調整したのはもちろんのこと、なにしろお中元ギフトでゼリーは激戦りだったので「さいたま果実ゼリーセット」もシャベットとしても楽しめるゼリーへとさらに進化させたそうです。パッケージも発売まで磨きをかけて続けたそうです。「どのように商品化すればいいかは、ずっと試行錯誤です」と語っていました。「さいたま果実ゼリーセット」の売れ行きをうかがったところ、早々に完売したそうです。「自主開発のメリットが生かされました。もう少し作っても良かったのかな、と思います」とのこと。でも頭の中は既にお歳暮になっていて、また何か出来ないかと思案しているようでした。「疲労回復とか、そういう健康志向に訴えるものとか、何かできないものか」と話してくれました。

卒業して20年というところで、在学時のことを何うと、森田昌幸先生のゼミです。「森田先生は、The教授です。・・・したまえ!」とか、呼ぶときは「何々君!」。1年生のとき、先生が書かれた東欧旅記に衝撃を受けました。「こういう視点で書く人が大学の先生にいらっしゃるんだ」と思いました。それから森田先生のゼミです。鍛えられました。ゼミでは議論することを学びました。対立する立場になって議論するディベートもやりました。それで、相手に伝えること、相手の話を聞くことの方がいいなと思っていました。これは今でも仕事で生きています。部活では演劇の「アランフェス」で活動したそうです。「出身の茨城の言葉を直そうと思って入りました。その活

動で川越のアトレマルヒロにあるホールも使わせてもらいました。それが「まるひろ」を知った最初です。茨城から出てきてすぐに地域の百貨店なんて知りませんでした。実は社内の昇格試験の勉強に、城西大学の図書館を使わせてもらいました。卒業生の利用証を作ってもらって、経営学の勉強とか、統計とか、1か月間くらいです。大学の図書館は勉強する環境が整っていると思いました。静かだし、みんな勉強している。薬学部の学生なんて、とても熱心です。キャンパスは緑が多くて植物園のようで、勉強しなくちゃ、もったいないです。大学を使い切りたいって思います。「いつも学食は、2階の「けやき」だったんです、ずっと。大学に行ったときに、そこがセブン・イレブンになっていて驚きました。・・・きつとあの「おぼちゃん」のファンだったんですね、それは口にされませんでした。



6月のお中元商品発表会では取材対応で大忙し

取材 2019年8月7日
心にもメモを取られていました。いつでも次の商品開発のヒントを探しているのだと思います。新商品、期待しています!



知る人ぞ知る「まるひろ」屋上遊園地の観覧車